

「伝統と文化」

日本の伝統と文化は世界の誇りです



流山図書館:小・中学校教科書開架



県立西部図書館:高校教科書開架

「検定合格教科書を図書館に!!」その後

前号で、市立図書館に検定合格した最新版の教科書を開架させる活動について紹介致しました。

その後、流山市・野田市の教育委員会・図書館と折衝した結果、流山市立図書館では小・中学校の教科書が開架され、野田市立図書館でも、4月中に開架することを野田教育委員会指導課及び図書館長が約束しくされました。

また、我孫子市からは、今後は、採択で使用した検定合格教科書全種類を、図書館に開架する旨の約束を、電話ではありますか指導課・図書館両者から取り付けました。

今後は、他団体とも連携して、東葛地区だけでなく、千葉県全体、そして日本全体に広げて行きたいと思います。

何故、27年間文科省『通知』を無視し続けられたのか

この問題の本質は、文科省の“検定合格教科書を図書館に置きなさい”という「通知」を県・市町村教育委員会が、確信的に27年間無視し続けて来たことにあります。

このようなことが許されてしまう背景には、内部の偏向思想集団の『不当な支配に服した』地方教育行政が、教育基本法第16条の「教育は、『不当な支配に服すことなく』」という文言を盾に治外法権的立場を主張し、国の教育行政、政治家、そして、我々一般国民の公正・公平な意見を排除して來たためであります。

その結果、偏向教科書の採択や偏向副読本の教育現場での野放しを助長して來ているのです。

このことが、現在の教育行政の『大問題の本質』と言えます。

そして、今回の我々の活動は、『不当な支配に服することなく』という『地方教育行政の強固な堤防』に、蟻の一穴を開けたものだとも考えることが出来ます。

我々は今後とも、このような地道な活動の中から、教育の改革を進めて行こうと思っています。

「知事」・「市長」が教育行政に関与可能に!!

平成27年4月に施行された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正により、自治体首長が、教育行政に関与できることになりました。そして、選挙がより一層大事になります。

この改正は、使い方によっては、今後の我々の活動の強力な武器となると思います。

(N.N. 記)

平成29年5月 改訂版 第2号(通販第24号)



能面・小面 若い女性を演じる

編集・発行： 教育を正す東葛市民の会
会長： 岩渕宣仁
事務局： 永井紀雄
電話： 047-343-1936

転向のキッカケ

産経新聞4月17日の朝刊一面にショックな記事が。
【渡部昇一氏死去 86歳】

渡部先生は左翼思想だった私にその誤りに気づかせてくださった恩人です。学生のころは大体左翼思想に染まると言われますが、私もその類だったのであります。

大学の最初の語学の授業でクラス委員を選ぶのですが、「クラス委員はクラスのお世話をすればいいんだ」という言葉に乗せられて行って見たら「学生委員会」なるところ。初めのころはまだ穏やかだったのですが、2年になった頃から徐々に全学連系の力が強くなっていました。

夏の西伊豆海岸での合宿では朝から晩まで「共産党宣言」や「資本論」などを勉強させられ、海で泳ぐ機会も全く与えられない。あまり酷いので仲間の何人かで逃亡したくらいです。

でも「革新」「改革」「革命」というと何か進んだことをやっているような気がするんですね。俺たちはその先兵であるみたいな。卒業のころの学園闘争のころから、その暴力的な行動に疑問を持ち離れていきましたが社会人になっても考え方としては左翼思想。一時は一人で成田闘争の団結小屋まで差し入れに行つたこともあります。

それが変わったキッカケは、“信頼するある人”的で渡部昇一、竹村健一、日下公人の鼎談本を読むことになったことからです。渡部昇一先生の名前は学生時代から聞かされており、「右翼」というレッテルを貼って攻撃の対象としていました。だからとんでもない奴?と思っていたわけで、もちろん先生の本なんか読んだこともなかったのですが。

だから本を薦められた時もあり気乗りがしませんでした。ところが読んでみると歴史でも経済でも文化でもしっかりとしたことを言われており、頭というか心にすっと入ってくるではありませんか。それから先生の歴史関係の本を片っ端から読みました。そうしたらまさに目からウロコ。それから人生が変わったんですね。

「信頼する先輩や恩師がいること」、「(正しい)歴史を学ぶこと」はいかに大事かと思います。

渡部先生ありがとうございました。先生のご冥福をお祈りいたします。

(N.I. 記)

<腐ったTVにもきらりと光る番組が>

1. プライムニュース BSフジ 月～金曜日 pm8～10
2. 小さな村イタリア BS日テレ 日曜日 pm10～11

(西尾幹二先生推薦番組)

土曜日 pm6～7(再放送)

<お知らせ> 総会があります！！

来月の6月3日(土)は、総会がPM 1:00より開催されます。

会員の皆様、年に一度の集まりですので、是非ご出席ください。

新体制のもと、教育改善のため一緒に行動しましょう。

おばあちゃんの子育て日記 k、k

孫の様子をうかがいに吉川に通いだし、もう3か月。とっても大きくなりました。寝返りもできるようになり、成功したときの得意そうな顔。こんなに幼くても、誇りがあるのですね。先週、こんな物に出くわし衝撃を受けました。武藏野線と常磐線の車両の中に「保育園に入りたい」とまだ1歳くらいの子が、うつむいたポスターが、全車両に貼られていました。入りたいのに入れないとでも言いたげな写真でした。私は今、娘の子育てを見ながらこれは、間違つてると。これは、むしろ「保育園に入りたくない」と言って泣いてるよう見え、胸を突かれました。子供は母親のそばに居たいのです。私がどんなに可愛がっても、母親を見る目と私を見る目には雲泥の差があります。母親に抱かれると「どうだ！僕の母さんだぞ！」と言ってるような顔になり、私に得意そうな顔するのです。なんともいえない喜びの表情です。こんなに母と子は深く結ばれているのです。もし、これを、無理に引き離すと、必ず後で「つけ」がやってきます。

今、保育園が足りないと、公園を潰して保育園建てたりしていますが、どうして急に足りなくなったのか？

母親が働くために保育園に入れ出したからです。私達も子育ては、苦しい生活の中でやってきました。子供が幼い時は質素につつましく頑張り、子供の成長に合わせて外に出ました。今、子供達は私と同じように、子育てを優先しています。とっても落ち着いた、思いやりのある子に育っています。以前、県の教育会議に出たことがあり、ある幼稚園の園長が言っていました。今、小学校で学級崩壊が起こっていると。それは、あまりに早くから、保育園や幼稚園に入れられ、落ち着かない環境にいて育てるせいだと。幼い時の子育てはゆっくり、じっくり一対一で丁寧に育てるべきだと思います。それが、結果的に良い日本人を育て社会が安定することに結びつきます。



カルタゴはなぜ滅んだか

カルタゴと日本の類似点

新興ローマと三度死力を尽くして戦い、紀元146年、歴史の闇に消えたカルタゴ。地中海に海洋国家として繁栄したこの国がなぜ滅びなくてはならなかつたのか・・・・。

貿易で繁栄し国民も働き者だったカルタゴは、大国ローマ、ギリシャと貿易摩擦を起こしていました。

その為にローマと戦争になり第二次ポエニ戦争ではハンニバルの活躍でもう少しで勝つところでしたが、本国が無能で足を引っ張り負ってしまいました。第二次ポエニ戦争の後、ローマはカルタゴに完全武装解除を要求し、カルタゴ内では揉めましたが結局もう戦争はしませんと要求を受け入れ武装解除しました。

後は歴史の示す通り、武装解除し丸裸同然になったカルタゴは第三次ポエニ戦争で滅びます。残った男は虐殺、女は奴隸、国は徹底的に燃やし尽くされ、畠や草木にも塩がまかれ、二度とカルタゴが復活しないようにしました。

マッカーサーが憲法九条を日本に押し付けた背景には、このカルタゴの武装解除がモデルになっているようです。

カルタゴと同じように丸裸同然にしたから「いつ滅ぼしてもいいと」マッカーサーの悪意がわかりゾッとしたですね。

今、中国は日本の尖閣、沖縄を本気で狙っています。尖閣、沖縄を取られたら日本全体が危ないでしょう。

日本をカルタゴのようにさせないためにも今、私たち日本人一人一人に覚悟が求められていると思います。

(Y.I. 記)

麻布中・駒場中よ 何故だ!?

『学び舎』歴史教科書チラシ配布

日本の、有名進学校が軒並み、発刊したての『学び舎』の中学校用歴史教科書をいとも易々と採択し、昨年から使用し始めました。一体このカラクリはどうなっているのでしょうか。

そこで、我々は、4月8日(土)麻布中学と筑大付属駒場中学2校の入学式当日に『学び舎』の歴史教科書の問題点を書いたチラシを門前で生徒等に配りました。

当団は生憎と雨で、なかなかチラシを取ってくれませんでしたが、麻布では多くの在校生が取ってくれて、約100部配ることが出来、雨の中の活動としては、まあまあの結果だったと思います。

『学び舎』本の概略

① 歴史を動かし、歴史を作った統治者の思考や行動、その結果として生じた歴史的事象などについて記述が極端に少なく、時代時代における統治の仕方が理解困難になっている。

② そして、歴史の視点を、「民衆」と「統治者」の争いに置き、階級闘争史観に基づく歴史を極端に強調する記述に多くの紙面を割き、「民衆」を虐げられた被害者として、「統治者」を権力をかさに着た乱暴狼藉を働く加害者として、これでもか、これでもかと記述している。

③ 記述には、「民衆」と「統治者」の争いごとを記述した資料を多用して、史実の信ぴょう性を担保しようとしている。

④ 時代時代の区分をあいまいに記述し、その表題に、今はやりの「レッテル貼り」をして印象操作し、本文は、物語風の筆致で虐げられた民衆の感情移入を生徒たちにしようとしている。

⑤ 歴史的重大事象でも、編集者の意図に沿わないものは、記述しない偏重した教科書となっている。(例えば、秀吉の「バテレン追放令」を全く記述していない。)

⑥ 近現代史においては、明治以降の、世界の中の日本立場の記述を蔑にし、東アジアの国々への日本の横暴をことさら強調して記述し、自虐史観を生徒たちに教え込もうとしている。

纏めを申し上げますと、

この教科書は、歴史書教科書の体をなしてない構成になっているにも拘らず、何故、検定合格したのか不思議でなりません。 (N.N.記)